

- ◆企画名 『天地明察』放映企画：KUSP・KU コアラ共催パート
日 程 平成 24 年 10 月 21 日（日）
場 所 大阪市立科学館
参加者数 16 名（ピア・サポーター 7 名、研修生 4 名、一般学生 5 名）
目 的

- ・『天地明察』の時代を肌で感じ、探究心を持つきっかけとする。
- ・グループ活動を行うことでコミュニケーション能力やチームワークの向上を図る。
- ・共催企画をすることでお互いの特徴を見つけ、今後の活動をより良いものにする。
- ・今後のピア活動参加者のリピーターを増やす。

内 容

1. 企画概要

大阪市立科学館で開催していた、映画『天地明察』の企画展示を見に行く。

2. スケジュール

- 13:00 大阪市立科学館前広場に集合。
13:15 挨拶、館内での諸注意を参加者に伝える。
13:30-14:05 科学館学芸員の方によるギャラリートーク。映画『天地明察』、「渋川春海の展示がある地下 1 階と 4 階を案内していただいた。
14:10 科学館 1 階の多目的室にてクイズ大会のグループ分けをする。
14:15 グループに分かれて、渋川春海に関するクイズ大会を行う。時間が余ったため各フロアの展示を回り、グループ内で交流を図った。
16:00 写真撮影とクイズ答え合わせ。
16:15 科学館前広場にて、クイズの結果発表と景品交換。
16:30 終わりの挨拶、アンケート回収をして解散。

感 想

応募期間中、なかなか参加者が集まらずに苦労したが、書類作成などの対応は早くできた。

企画当日、予定していた時間に若干遅れてしまい、一般学生数名を待たせてしまった。

企画中、参加者の方は学芸員さんのお話を熱心に聴かれていた。（メモを取る姿も見られた。）クイズ解答後も数多くの展示品、体験コーナーを見て回り一般学生もピア・サポーターも楽しんでいた。

KU コアラとの共催企画だったが、KU コアラ側の責任者に負担がかかってしまった。

一般学生のアンケートの結果は参加して「良かった」もしくは「大変良かった」のどちらからであり、企画の内容自体としては楽しめるものであったと思われる。それだけに一般学生の募集があまり上手くいかなかったことが悔やまれる。今後の募集の際は企画の内容だけでなく企画を如何に学生に面白そうに見せるかも考えていきたい。

改 善 点

- ・参加者が集まらず、苦労した。
→学生の興味関心について、事前に調査を行う、参加者の募集方法を増やす、企画の内容の伝え方を考える。
- ・KU コアラ側の責任者に負担がかかってしまった。
→次回以降の共催の際にはどちらか片方に負担が集中しないようにバランスを考える。
- ・遅刻者が出て集合場所に遅れた。
→遅刻者が出た時の対策をあらかじめ考えておき、全体に伝えておく。